別紙様式１－１（平成19年度承認計画用）

木島平２３上下第４号
平 成 23 年 8 月 31 日

長野財務事務所長　　殿

木島平村長　芳川　修二　印

財政健全化計画等執行状況報告書

以下の財政健全化計画等の執行状況について、別紙のとおり報告します。

☐ 財政健全化計画

☑ 公営企業経営健全化計画

- ☐ 上水道事業（　　）
- ☐ 工業用水道事業
- ☐ 都市高速鉄道事業
- ☑ 下水道事業（　　）
- ☐ 病院事業

担当課：環境整備課

職名及び氏名：上下水道係長　高山俊明

連絡先：０２６９－８２－３１１１

別紙様式１－2（平成19年度承認計画用）

財政健全化計画等執行状況報告書

1. 基本的事項

団体名	木島平村	会計名	下水道事業特別会計	団体担当者	高山俊明
承認年度	平成19年度				

2. 判定結果

項目	計画最終年度（又は改善額合計）			計画前年度実績（又は補償金免除額）		類型
	目標値	実績見込値	乖離値	実績値	乖離値	
① 地方債現在高						
② 実質公債費比率						
③ 職員数	2.0	2.0	0.0	2.0	0.0	a
④ 改善額	20.0	147.0	127.0	10.3	136.7	a
⑤ 公営企業債現在高	2923.0	2908.0	15.0	3784.0	876.0	a
⑥ 累積欠損金比率						
					総合判定	a

3. その他

（ⅰ）計画及び前年度執行状況の公表状況

計画：平成20年4月　公表　（ HP ・広報紙・その他【　　】　）

執行状況：平成22年10月　公表　（ HP ・広報紙・その他【　　】　）

（ⅱ）計画及び前年度執行状況の議会への説明

計画：平成20年3月　説明

執行状況：平成22年9月　説明

（ⅲ）平成23年度提出予定の旧資金運用部資金の補償金免除繰上償還に係る財政健全化計画等

- ☐ 財政健全化計画
- ☐ 公営企業経営健全化計画
  - ☐ 水道事業（　　）
  - ☐ 工業用水道事業
  - ☐ 都市高速鉄道事業
  - ☐ 下水道事業（　　）
  - ☐ 病院事業
  - ☐ 介護サービス事業
- ☑ 提出予定なし

別紙様式１－3（平成19年度承認計画用）

団体名	木島平村
会計名	下水道事業特別会計

類型	

① 地方債現在高

（ｉ）推移表

（単位：百万円）

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	計画最終年度（平成23年度）	計画前年度（平成18年度）
計画目標値（A）						
実績（見込）値（B）						
乖離値（C）（A－B）						
乖離率（D）（C／A）						

（ⅱ）要因分析

計画最終年度における未達成の要因	影響額（単位：百万円）					備考	やむを得ない事情
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度		
合計	－	－	－	－	－		

（ⅲ）実績（見込）値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

（ⅳ）改善に向けた取組及び今後の見通し

（ⅴ）改善方針の進捗状況

別紙様式１－4（平成19年度承認計画用）

団体名	木島平村
会計名	下水道事業特別会計

② 実質公債費比率

類型	

（ｉ）推移表

（単位：%）

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	計画最終年度（平成23年度）	計画前年度（平成18年度）
計画目標値（A）						
実績（見込）値（B）						
乖離値（C）（A－B）						
乖離率（D）（C／A）						

（ⅱ）要因分析

（単位：百万円、%）

係数項目	平成21年度				やむを得ない事情	採用係数
	計画目標値（A）	実績見込値（B）	乖離値（A-B）	乖離要因		
地方債の元利償還金						
準元利償還金						
地方債の元利償還金又は準元利償還金に充てられる特定財源						
普通地方交付税の額の基準財政需要額に算入された地方債の元利償還金						
標準財政規模						
単年度実質公債費比率					単年度再算定比率	

係数項目	平成22年度				やむを得ない事情	採用係数
	計画目標値（A）	実績見込値（B）	乖離値（A-B）	乖離要因		
地方債の元利償還金						
準元利償還金						
地方債の元利償還金又は準元利償還金に充てられる特定財源						
普通地方交付税の額の基準財政需要額に算入された地方債の元利償還金						
標準財政規模						
単年度実質公債費比率					単年度再算定比率	

係数項目	平成23年度				やむを得ない事情	採用係数
	計画目標値（A）	実績見込値（B）	乖離値（A-B）	乖離要因		
地方債の元利償還金						
準元利償還金						
地方債の元利償還金又は準元利償還金に充てられる特定財源						
普通地方交付税の額の基準財政需要額に算入された地方債の元利償還金						
標準財政規模						
単年度実質公債費比率					単年度再算定比率	
実質公債費比率					再算定比率	

（ⅲ）実績（見込）値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

（ⅳ）改善に向けた取組及び今後の見通し

（ⅴ）改善方針の進捗状況

別紙様式１－５

団体名	木島平村
会計名	下水道事業特別会計

③ 職員数

類型	a

（ｉ）推移表

（単位：名）

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	計画最終年度（平成23年度）	平成２１年度計画目標値
計画目標値（A）	2	2	2	2	2	2
実績（見込）値（B）	2	1	1	1	2	
乖離値（C）（A－B）	0.0	1.0	1.0	1.0	0.0	0.0
乖離率（D）（C／A）	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%

（ⅱ）要因分析

計画最終年度における未達成の要因	影響人数（単位：名）					備考	やむを得ない事情
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度		
合計	－	－	－	－	－		

（ⅲ）実績（見込）値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

（ⅳ）改善に向けた取組及び今後の見通し

（ⅴ）改善方針の進捗状況

別紙様式１－6（平成19年度承認計画用）

団体名	木島平村
会計名	下水道事業特別会計

④ 改善額

類型	a

（ｉ）推移表

（単位：百万円）

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	改善額合計	補償金免除額
計画目標値（A）	2	3	4	5	6	20	10.3
実績（見込）値（B）	14	4	39	51	39	147	
乖離値（C）（B－A）	12.0	1.0	35.0	46.0	33.0	127.0	136.7
乖離率（D）（C／A）	600.0%	33.3%	875.0%	920.0%	550.0%	635.0%	1327.2%

（ⅱ）要因分析

計画最終年度における未達成の要因	影響額（単位：百万円）						備考	やむを得ない事情
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	合計		
						－		
						－		
						－		
						－		
						－		
						－		
						－		
						－		
						－		
						－		
						－		
						－		
						－		
						－		
						－		
						－		
						－		
						－		
						－		
						－		
						－		
						－		
						－		
						－		
						－		
合計	－	－	－	－	－	－		

（ⅲ）実績（見込）値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

（ⅳ）改善に向けた取組及び今後の見通し

（ⅴ）改善方針の進捗状況

別紙様式１－7（平成19年度承認計画用）

団体名	木島平村
会計名	下水道事業特別会計

⑤ 公営企業債現在高

類型	a

（ｉ）推移表

（単位：百万円）

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	計画最終年度（平成23年度）	計画前年度（平成18年度）
計画目標値（A）	3,608	3,432	3,260	3,092	2,923	3,784
実績（見込）値（B）	3,608	3,411	3,243	3,077	2,908	
乖離値（C）（A－B）	0	21	17	15	15	876
乖離率（D）（C／A）	0.0%	0.6%	0.5%	0.5%	0.5%	23.2%

（ⅱ）要因分析

計画最終年度における未達成の要因	影響額（単位：百万円）					備考	やむを得ない事情
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度		
合計	－	－	－	－	－		

（ⅲ）実績（見込）値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

（ⅳ）改善に向けた取組及び今後の見通し

（ⅴ）改善方針の進捗状況

団体名	木島平村
会計名	下水道事業特別会計

⑥ 累積欠損金比率

類型	

（ｉ）推移表

（単位：%）

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	計画最終年度（平成23年度）	計画前年度（平成18年度）
計画目標値(A)						
実績(見込)値(B)						
乖離値(C)（A－B）						
乖離率(D)（C／A）						

（ⅱ）要因分析

（単位：百万円、%）

	計画最終年度(平成23年度)		再算定値
	計画目標値(A)	実績見込値(B)	
分母(営業収益等)			
分子(累積欠損金)			
累積欠損金比率			

分母悪化要因

（単位：百万円）

要因	影響額(百万円)	備考	やむを得ない事情
合計	－		

分子悪化要因

（単位：百万円）

年度	純損益		乖離値(A-B)	乖離要因	やむを得ない事情
	計画目標値(A)	実績見込値(B)			
平成19年度					
平成20年度					
平成21年度					
平成22年度					
平成23年度					
合計			－		

（ⅲ）実績（見込）値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

（ⅳ）改善に向けた取組及び今後の見通し

（ⅴ）改善方針の進捗状況